

冬の寒さも和らぎ、徐々に春の暖かさが感じられる季節となりました。本日この吉賀高等学校を卒業される三先生の皆様、ご卒業おめでとうございました。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、先輩方との思い出を振り返ってみると、常に私たちの前を歩き、私たちを引っ張ってくださる姿が思い浮かびます。二年前の入学式で、不安でいっぱいだった私たちに笑顔で話しかけてくださった先輩方の優しさは、今でもはっきりと覚えています。先輩方が明るく接してくださったおかげで、私たちはすぐに高校生活に馴染むことができました。

吉賀高校の一大イベントであるよしか祭では、忙しいスケジュールの中、夏休みからたくさんの準備をしていらっしやいました。そして、応援合戦の練習の際には、ダンスの振り付けを一つ一つ丁寧に教えてくださいました。そのおかげで、本番はどちらの組も素晴らしいパフォーマンスができたと思います。体育祭当日はあいにくの雨のため体育館での実施となり、競技種目の変更もありました。しかし、臨機応変に対応していらっしやる先輩方を見て、私もそのような前向きで柔軟性のある人になりたいと思いました。

部活動でも、常に先輩方がリーダーシップをとり、私たち後輩を指導してくださいました。私は華道部と音楽部に所属していますが、どちらの部も笑顔があふれていて、どのような質問にも優しく答えてくださいました。いつも真剣に活動していらっしやる先輩方は、とても輝いて見えました。

先輩方も、三年間の高校生活の中では、楽しい思い出ばかりではなく、辛いこともあったことでしょう。そのようなときは、クラスメイトと力を合わせて乗り越えていらっしやったのだと思います。先輩方が卒業して、自分の道を歩んでいく中でも、多くの困難に立ち向かっていかなければならないことがあるでしょう。しかしこれからも、先輩方が持つていらっしやる明るさと前向きな姿勢を武器にして、力強く乗り越えていってくださいと信じています。苦しいときには、この吉賀高校で仲間と共に過ごした日々、先生方と私たち後輩、豊かな吉賀町のことを思い出してください。私たちはいつも先輩方の味方です。これからもずっと応援し続けていきます。

先輩方が卒業された後、私たちが先輩方のようにこれからの吉賀高校を引っ張っていただけるのか、不安に感じています。しかし、先輩方が築き上げてくださった吉賀高校の伝統を私たちが受け継ぎ、さらに良いものにしていくために、精一杯努力していきたいと思えます。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。在校生代表の送辞とさせていただきます。

令和二年三月一日

在校生代表 武岡 梨緒